

週刊 SSH（6月14日）

「東京工業大学 高校生のための先端科学・技術フォーラム」

都立高等学校に在籍する生徒を対象に、科学・技術の分野における最新の研究成果等に関する講演を行うことにより、生徒が大学に進学し、研究することの意義に対する理解を深めるとともに、研究者・技術者の人間的な魅力に触れ、大学進学後の自己の在り方や生き方への意識を高めることを目的としてフォーラムが行われました。

16時からのオンライン講義のため、学校の講義室において多数参加してもらいました。

東工大の真田純子教授（環境・社会理工学院）の「伝統技術が最先端に？石積みを科学する」というタイトルでの講演でした。講演の後、東京工業大学の学生によるプレゼンテーションと高校生の質疑応答が行われました。学生のプレゼンテーションでは高校時代について部活動や学校行事と勉強との両立やどうして東工大を選んだのか？大学生時代の生活についてや大学に入学してからやりたいことを勉強できる環境についてなど、高校生の知りたいテーマについて色々と話していただきました。

質疑応答では石積みの詳しい方法論や現代建築との関係、強度についてなど、幅広い質問に対して丁寧に答えていただきました。とてもためになる話をどうもありがとうございました。

生徒達もこのような経験にもとづくアドバイスは今後の進路活動や研究に励みが出ると思います。



第10回

東京工業大学
高校生のための
先端科学・技術フォーラム

高校生の皆さんに科学を学ばせしめ、技術を活用する面白さを感じてもらいたいイベントです。
東京工業大学 環境・社会理工学院の真田純子先生が、最新の研究成果を皆さんにわかりやすくお伝えします。

Drum Stone Walling

伝統技術が最先端に？
石積みを科学する

真田 純子
JUNKO SANADA
専任 社会理工学院
土木・環境工学系 教授

農村に行くと田舎の雰囲気があり、それが地域の発展とあって地域活性化に役立っている。田舎の景観は、石積みで作られていることが多いが、その石積みの技術は失われている。しかし、石積みは再評価されている。伝統から脱却、というだけでなく環境的に持続可能な工法として、あるいは「美しい景観」ではないからその「美しさ」をもつものとして、文化的、景観的、工学的側面から石積みの世界をのぞいてみよう。

2023.6.14 (WED)
16:00 → 18:00

形式：Zoomウェビナーによるオンライン開催
申込：各高等学校窓口

主催 東京工業大学
Tokyo Institute of Technology
共催 東京都教育委員会

